



千葉ウエストワイズメンズクラブ 2022年1月 (No.16)

会長 高田一彦 国際会長 キム・サンチェ(韓国) 主題 Y's Men with the World
副会長 吉崎 勇 アジア太平洋地域会長 大野勉(神戸ポート) 百年を超えて変革しよう
書記 内田久昭 東日本区理事 大久保知宏(宇都宮) 私たちは次の世代のために何ができるか?
会計 長尾昌男 関東東部部長 大澤和子(所沢) 私の地域から世界に広げよう 青少年を支えるワイズの輪・和・ワッ!
担当主事 小林和弘 千葉ウエストクラブ 高田会長主題 ワイズの輪を通して社会貢献を
*千葉ウエストクラブ 連絡先 日本基督教団船橋教会 273-0865 船橋市夏見6-6-6 ☎ 047-425-6366

今月の聖句 父よ、あなたが私のうちにおられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちの内にいるようにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります。(ヨハネによる福音書第17章21節)

千葉ウエストワイズメンズクラブ1月例会

< EF, PWA Legacy, JEF の月 >

日時：1月22日(土)午後2時~4時

場所：日本基督教団 船橋教会 信徒館

司会 長尾昌男君 受付 内田久昭君

開会点鐘 高田一彦会長

ワイズソング・ワイズの信条

聖書朗読 鈴木秀信君

ビジター・ゲスト紹介

会長報告・YMCA報告

Happy Birthday 長尾順子さん

卓話「自分紹介」 高田一彦君

クラブ活動について

ドライバー(新年の一言) 水沼昭子さん

閉会のことば 吉崎勇君

閉会点鐘 高田一彦会長

今月の強調テーマ

EF (Endowment Fund) エンダウメントファンド
国際協会の財政的な安定およびワイズダム発展のための基金。個人/クラブが特定の人を記念して献辞とともに120スイスフラン以上の寄付を行うか、個人/クラブとして寄付のみを行うかの2種類がある。前者は、国際本部に永久保存される「ゴールデンプック」に献辞が記載される。

PWA Legacy (PWA 遺産プロジェクト)

ポール・ウィリアム・アレキサンダー-遺産プロジェクトは、2022年の100周年記念式典に向けて、YMIの創設者を称える特別プログラム。

JEF (Japan East Y's Men's Fund)

東日本区ワイズ基金 東日本区ワイズ運動の安定的かつ継続的發展を支えるため、個人、クラブが記念すべき出来事、行事、慶弔等の折に基金に寄付を行う。寄付者氏名とその理由が「奉仕帳」に記載され永久に保管される。

◎例会出席者は、高田会長 090-8509-0701

又はメール takawaizu@f7.dion.ne.jp

へお願いします

12月のデータ 会員9名

出席者8名(会員8名)

出席率：100% (メーキャップ1名を含む)

ドライバー：8,000円 (累計：43,500円)

千葉ウエストクラブの活動拠点



我がクラブの活動拠点である信徒館の建設と共に懸案であった、教会の門柱の標識が12月16日に完成し、YMCAのマークも依然と同じように、掲げられました。12月19日の礼拝の後に教会員40名余が参加して献堂式が挙行されました。

千葉ウエストクラブ12月例会報告

12月18日(土) 14時～16時 於:船橋教会 信徒館

出席者:内田、岡田、小林、高田、長尾、水沼、守安、吉崎 (鈴木12/9事務例会メーキャップ)

例会前の教会前庭の落ち葉掃きは前日の雨交じりの天候で、落ち葉が固まっていつもよりすっきりと掃き集めることが出来た。内田久昭君の司会で、開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条に続いて、吉崎勇君の聖書朗読があった。会長報告では、東日本区としては初めての試みの12/8日の祈りの輪(Zoom)に参加して、ミャンマーYMCA総主事のミャンマーの実情について聞いたこと、子供食堂の後方支援、シルバーリハビリ体操の開始について、また、次年度のクラブ役員については今年度の体制を継続などが報告された、YMCA報告では、12月～1月冬のプログラム計画、千城台アフタースクールの準備、シオン幼稚園での体操、チャリティーランの準備状況、2022年3月の千葉YMCA総主事の就・退任式(廣田総主事から山添総主事へ)などが報告された。



卓話の「自分紹介」は、水沼昭子さんで第2次世界大戦

で幼少期を迎えた中でのたくましい生きざまが語られた。(別掲参照)

クリスマス例会としては、水沼昭子さんのクリスマスメッセージの絵本(フェリクスホフマン作)の朗読の後、高田会長のウクレレの伴奏で「きよしこの夜」を皆で歌い、プレゼント交換を番号籤引きで行い、次のドライバーのコーナーで、獲得したプレゼントの披露を行った。小林和弘君の閉会の言葉、高田会長の閉会点鐘で、12月のクリスマス例会の幕を閉じた。



クリスマス例会の交換プレゼント

「自分紹介」

水沼昭子(てるこ)さん



東京で生まれた水沼さんのたくましさは、第二次世界大戦下で幼少期を迎え、戦後の様々な生活の変化を経験したことにある。職人の父と負けず嫌いの母に育てられ、近隣の教会学校に通ったのがキリスト教との出会いの始まり。その後、西千葉教会で受洗し、同教会の木下弘人牧師の声掛けで愛隣幼稚園でボランティアとして働く経験を通して、幼稚園教師を目指すことになる。その後、江東YMCA幼稚園と船橋教会附属シオン幼稚園で園長を歴任した。その間、キリスト教保育連盟で関東部会長を経験し、実践するキリスト教保育一筋に55年間歩んでこられた。30代に出会った特別支援が必要な子どもからは、「一人一人の違いが大切にされる保育」を学び、7年間にわたる故津守真・お茶の水大学教授主催の「現職研究会」での学びからは、「子どもを見る眼」を養った。これらが水沼さんの財産となった。ドイツでは一人ひとりの個性を尊重するシュタイナー教育を学ぶことができた。園長退任後も幼稚園の卒園生や保護者からの悩みも受け止めておられるとともに、キリスト教保育連盟アドバイザーとして、幼稚園・保育園・子ども園等の先生方の指導にあたっておられる。また、シオン幼稚園の園長在任中に突然70歳で召天されたご主人の言葉にも日々励まされ、教会の信徒として積極的な働きをなされ、日本キリスト教団の伝道委員として教団の牧師を支えてこられた。生涯現役のワイズへの有力な新人会員である。

YMCAチャリティーラン

- 参加者募集期間: 2022年1月11日(火)～31日(月)
- 個人参加実施期間: 2/10(木)～18(金)9日間
- チーム参加実施期間: 2/19(土)～28(月)10日間
- 誰でもウォーキングチャレンジ: 2/10(木)～28(月)
- 閉会式・表彰式 : 3月 6日(日)

(実施については、歩数計アプリ「Renobody」を使用)

https://renobody.jp/support/manual/00_initial_setting_guide_all.pdf

事務例会報告

- 事務例会の開始時間の変更

第2木曜日(19時開始→20時に変更)

- 新年度クラブ役員(今年度を踏襲する)

会長 : 高田一彦

副会長 : 吉崎 勇

書記 : 内田久昭

会計 : 長尾昌男

今後の予定

- 2/3 (木) 千葉ウエスト 事務例会(Zoom) 20:00～
- 2/12 (土) 千葉クラブ例会 18:00～20:00
- 2/12 (土) 千葉ウエスト例会 14:00～16:00

千葉ウエストクラブメンバーの2022年の抱負

新年の抱負



小林和弘

2022年は昨年に引き続いて様々な事に挑戦し、挑戦するだけでなく「形」にしていく年にしたいと考えています。コロナ禍の現在、今まで以上に屋外で実施する野外教育活動の価値は高まっています。子どもたちが伸び伸びと活動できる【場所・時間】の提供と保護者が安心して預けられる【学生リーダーの育成】をテーマに活動します。またアフタースクール事業もYMCAの強みを生かした【地域との連携】に重点を置き、【地域で子どもを守り・育てる】事を実現できるよう視野を広げ、より積極的に活動していきます。

新しい年を迎えて思うこと



鈴木秀信

千葉ウエストワイズメンクラブが結成されて1年2か月ほどが経ち、活動にも定着化がみられることができるように思われ、嬉しく思っております。大切なことは活動の原点を把握、会員相互のコミュニケーション、そしてリーダーの求心的役割が求められることです。その点、高田会長始めクラブをリードされる方々に心より感謝申し上げる次第です。「こども食堂」企画への全的フォロー、そのほかいくつかの企画が挙げられております。私も私のできる範囲で協力を惜しまないで参加してまいりたいと思います。ただ私が今関わっております教団信徒運動の委員会の強化及び構成がこの年度を境として、大きく変化しようとしています。事務局長の任としてそちらのほうに少々力を傾注しなければならず皆様には大変申し訳なく思っております。今後ともよろしくお願ひいたします。

新年の抱負



内田久昭

千葉ウエストワイズメンズクラブの創設後1年が経ち、ワイズメンズクラブの組織と活動の全体像が漸く見えるようになりました。世界を視野に活動しているという認識をもつことが出来ました。一方、当クラブの具体的な活動が求められています。昨年春から偶々千葉YMCAの常議員と地元シルバークラブ人材センターの理事になり、公益法人の運営に携わる機会が与えられました。これまでの会社組織や活動と違ったことを学習しながら、ワイズメンズクラブの活動に生かしたいと思っております。個人的には山登りが早くできることや楽器演奏の上達を願っています。

新年の抱負



高田一彦

2年目へ突入している千葉ウエストクラブにとっては具体的な活動を実現すると同時に、クラブ内の充実を図っていききたい。クラブ活動を活性化するためには、もっと外部との接触を増やさなければならないと思う。他クラブとの交流を積極的に推進する(現段階ではZoom等のオンラインによる交流)ことや、卓話についても外部講師を積極的に招くなどが、クラブへの刺激を与えるものと確信する。アンテナを張り巡らして、何かきっかけがあれば、がむしゃらに捉えていきたいと思う。それには自らの健康維持が大前提となるので、毎朝の八段錦の励行や日々の摂生に配慮しなければならないと思う。

年初の抱負



岡田裕三

個人的には、1年目の活動を通して2年目以降の目標が明らかになったと思います。それは、「子供食堂」など子供、若者、移民等の心の拠り所、即ち「居場所」作りです。これにどうかかわっていくかを明確にし、具体的な活動を行う事が本年すべきことと思っております。千葉ウエスト内ではまだ十分な話し合いはこれからですが、持続可能な「居場所」運営に向け、我々Y'sは特に資金確保の分野で知恵を絞り、活動の強力支援を行う必要があると感じています。難しい領域ですが、Y'sの他クラブの方々、同好の諸氏と話し合い、活動に結びつけて行きたいと思っております。本年もよろしくお願ひいたします。

新年の抱負



吉崎勇

まずは 命ある事。健康でいられるようにと願っています。そのためには、という事ですが運動・食事・趣味の数々・そして社会とのかかわり、これらを楽しくやる事に努めたいと思っております。具体的には ゴルフ:月に3回ほどやっていますが面白くなってきています。スコア80台キープのゴルフを目指しもうひと頑張りします。油絵:コロナ騒ぎで幾つかの展示会が中止となりそれで去年は2点しか描きませんでした。もう数枚描かねばと思っています。将棋:PCでやっています。繰り返し「待った」ができるので面白いです。家庭菜園:一昨年無思慮に柿の苗木を2本購入、植えましたが家内に「桃栗3年柿8年、知っている?」といわれ、びっくり。「此の木から成る実を食べる」と宣言。

新年の抱負

水沼昭子



コロナウイルスとの共存2度目の新年、この間に経験した様々な出来事は、単なる経験に留まらず、81歳の私に多くの想いが与えられ豊かな日々であった。豊かさ=贅沢ではない豊かさ、週に二度の外出。日曜日、教会で礼拝をお捧げし、CSのご奉仕。水曜日、聖書研究祈祷会に参加。主のみ言葉を受け歩み始める週の始め。週の半ば、生活での思いを一杯にして、旧約聖書を学び、祈りを共に捧げる。この2日の外出がコロナ禍の日々の経験を単なる経験に留めることなく、他者との関りや日常生活の工夫や知恵を与えられて来た。小さな私だが主により生かされて在ることを感じる日々。保育者として60年余り、出会った様々なタイプの子ども達から学んだこと、主と共にある保育の日々で出会った保育者や母親たちの喜びと悩み。それら財産を形として残す作業を始める年としたい。

新年の抱負

守安久美子



対外的抱負は教団、婦人会連合、教会の抱えている目標や集会の準備が滞りなく進めるよう、健康に留意して取り組む事。個人的抱負は自己流で来てしまっているパソコンのExcelをキッチンと勉強し直す事と新しいお稽古事に取り組む事です。個人的抱負はどれだけ時間が取れるかわかりませんので、今年に限らず続けられるだけ続けたいと思います。年代が変わる時に一段階ガクッと下がるとお聞きしますので、あと4年は多少の無理はしても、新しい事に取り組んで行きたいと思っております！

某信託銀行OB会の会報誌(2021年12月号)に、寄稿した近況報告より (長尾昌男)



クラブメンバーの披露をする新クラブ設立メンバーの八名
(筆者は左から三人目)



「健康な高齢者」で
長尾昌男

平成二十七年(二〇一五年)四月の六十八歳より完全年金生活者と成りましたが、五十歳前より「ワイズメンズクラブ国際協会」の千葉ワイズメンズクラブに入会し、「YMCA」及び、広く地域社会に貢献すること」を目的にしたクラブの活動を続けて来ました。

クラブ運営にはPCも必要。現役の終盤、PCでのシステムドキュメント作成で身に付けたことが活かされています。

今年で二十五年。この間、クラブ会長や千葉クラブの属する関東東部(東京都江東区・千葉県・埼玉県・茨城県)の部長の任務も経験し、昨年の二〇二〇年十月、新クラブ設立準備委員長として船橋の地に「千葉ウエストワイズメンズクラブ」を新たに設立することが出来ました。

現在、SDGs(持続可能な開発目標)を視野にコロナ禍の下、地域直結型で社会貢献ができるプログラムとして幼稚園等のガーデニングのサポート等を模索中です。会報「東友」が届く頃には、良いボランティア活動が始まっていると思います。

最後に、後期高齢者も目前ですが適度に頭も使い、健康で出掛ける所もあり、少しの社会貢献が出来る喜びを持ち続けたいと思います。